

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2019 年 7 月 18 日開催分)

開催年月日： 2019 年 7 月 18 日(木) 11:00~13:00

開催場所： 株式会社WOWOWプラス 会議室

委員の出席： 番組審議員 6名

WOWOW プラス 8名

出席者

[審議員] 音好宏、草場滋、高寺成紀、富澤一誠、村上典吏子、
湯浅正敏

(以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 牧野力、郡司誠致、宮澤辰之、松田健吾、青木昭、
山下泰司、野村憲一、伊藤里沙(記)

議題： (1) 2019 年 4 月~6 月のシネフィル WOWOW に対する視聴者からの問い
合わせや指摘・意見について
(2) シネフィル WOWOW の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2019 年 4 月~6 月におけるシネフィル WOWOW に対する視聴者からの問い
合わせや指摘・意見について、当社編成制作局長より、その件数や代表的
な内容といった概要説明を行った。

審議事項： [審議番組] 名画の理由：ルキーノ・ヴィスコンティ

<番組概要>

映画史に偉大な足跡を残す名監督、名脚本家、名カメラマン……

彼らが生み出した名画を毎月お届けすると共に、それらがなぜ名画と呼ばれるのかを、いくつかのキーワードと紐解くミニ解説番組を本編前にお届けする。

声の案内役は、無声映画のセリフや解説をする「活動弁士」として今、国内外で大きな注目を集める片岡一郎氏。名調子に酔ううちに、名画の理由が解ってしまう。

審議内容： ■審議員意見

・番組の内容としては素晴らしいシリーズだが、あえてナレーションに「活動弁士」を起用するのであれば、活弁姿などを視覚的にも見せた方が良いのではないか。ヴィスコンティ自身の肖像も欲しい。

- ・3分という尺だからこそその見やすさもあるが、一方でヴィスコンティ自身の生い立ちや作品の背景などもう少し情報が欲しかった。また、冒頭の解説だけでなく、本編後に蘊蓄やトリビアの紹介があっても良いのではないか。
- ・ヴィスコンティの重厚で独特な空気感が伝わる内容で、3大テーマに整理して解説するのも分かりやすいが、ヴィスコンティ自身の情報がもう少し欲しい。また、画面に多くの文字を入れないなど、細かな部分の見やすさにも気を配れると良かった。
- ・難解な映画だからこそ、ヴィスコンティも『ベニスに死す』も知らない視聴者にも観たい・面白いと思わせるような、「なぜこの作品が名画であるのか」を分かりやすく解説する工夫が必要。
- ・「活動弁士」の起用は良かった。映画を観る前にうるさくもしつこくもないちょうど良いトーンで、テンポも滑舌も気持ち良い。ただ、3分で3作品の解説というのはもったいない。3作品なら6分あっても良いし、1作品ずつ分けても良いと思う。

■審議員長総評

- ・ヴィスコンティはヨーロッパ映画界において特別な存在であり、彼自身やその作風について、尺を伸ばしてでももう少し踏み込んだ解説が欲しかった。活動弁士・片岡一郎氏を起用したナレーションの演出は良い。

連絡事項： 次回番組審議会は、2019年10月21日（月）17：00開催予定。

以上